

至急

四 一一

受信開始 〇七二五二

終了 〇八〇三 電 〇五九七九

作 櫛



天一聯作戦部隊

六航空派遣通信隊

機密第一〇一九四六番電

二分ノ二



八五高地ハ九日夜獨立歩兵第一三大隊及獨立歩兵第二七二大隊ヲ以テ總員斬込ヲ行ヒ十日〇八四〇之ヲ奪回當面ノ敵ト激戰中其ノ他戰線大ナル變化ナシ軍砲兵ノ適切ナル協力ノ下激戰中。

電信課註 本電二分ノ一既配布

通六七一六 呂一〇ケ七(四九一五K) 佐二放 新倉(細川)

昭和廿年四月拾壹日



國 一〇 受信二二二九  
譯了二三四〇 電〇五八二五 作機〇

昭和廿年四月拾壹日

緊急

天一號作機部隊

六航軍派遣通



機密第一〇二〇一二番電

球情報

本島來襲ノ機數ハ連日大ナル變化ナシ且同飛行場ハ機ノ下方使用  
シアルヲ以テ未ダ本格的僱用ハ之ヲ拘束セラレアルモノト判斷ス。

通六五機密 呂一四七七(四九一五機)佐二放 東(秋 葉)

編

緊急

四二一 受信二二〇五七 譯了二三〇〇 電〇六四二三

昭和二十一年四月拾貳日

作

● 東通・佐通・沖繩方面特根

● 宮古島警備隊

機密第一〇二〇四五番電 二〇ノ下二

● 石垣島警備隊司令

● 沖根司令官 佐通參謀長 軍令部一部長

● 通報 宮古島警備隊司令 南西諸島空司令 九五一空司令官

● 當方面現情勢ハ綜合戦力ノ極度發揮ヲ要セラルル當島海軍部隊各指揮

● 系統ヲ異ニシ戦力發揮上支障極メテ大ナリ佐世保沖繩トノ交通杜絶セ

● ル現在各島礁先任指揮官方所在部隊ヲ一元的ニ統轄指揮スルハ緊急事

● 項ト觀ム。

通七六二四九 天二〇ケ六( ) 佐通 漢月、和田( ) 符

作戰緊急



機動基地航空部隊天作戦部隊作戦命令着信機所

機密第 105118 番電 三分ノ二

四 一〇 開始〇一〇〇 譯了〇二三〇 電自〇〇五八七八 航作機本〇

昭和二十年四月拾壹日

共 符

天信電令作第九九號 明十一日一部隊開軍航空部隊ハ 候回復次第發進左ノ通り索敵ヲ實 施スベシ

- 一 第十一部隊 索都井岬 一四五度一〇〇 渥二〇五度四〇〇 渥一一五度
- 三〇 渥二五度三〇〇 渥都井岬 二 索都井岬 一七〇度五五渥一〇九
- 度四〇〇 渥一一五度三〇〇 渥二五度三〇〇 渥都井岬 三 索都井岬 二
- 〇〇度四〇〇 渥沖水良都九突嶼左多岬 四 索坊ノ岬 小場尻モマ夕
- ユ二五五度二五 渥坊ノ岬
- 通六六三七・六六三九・六六五一

呂一Bヶ七(七八七五X)一KFGB故 相澤久保田・高田(田中)

五 索沖繩南端中心七〇哩圈内（沖繩上陸點附近中城灣慶良間北中飛行場ノ寫眞偵察ヲモ併セ實施）

六 索「マノコ」中心トスル六〇哩圈内ノ索敵（敵機動部隊ノ補給可能）

ニ 關東空部隊使用機彗星三機

- (イ) 索敵區域釣掛埼基點二八度ヨリ二三八度迄  
 (ロ) 測程左折三〇哩進出距離三〇〇哩。

四  
一一〇 受信二〇三〇一五  
譯始〇〇〇五  
譯了〇一一〇 電〇五八四三  
作 概

緊急

石垣島航空基地



東 通・佐通・沖繩根

宮 古 島 警

機密第一〇二二〇番電

戰鬪概報

○五二〇ヨリ〇六〇〇グラマン一機上空哨戒飛行場ニ緩慢ナル銃爆撃ヲ加フ〇七〇〇ノースアメリカン一四四〇迄戰爆延四二機概ネ北京ヨリ進入高度六〇〇米ノ雲上ヨリ主トシテ對空施設 陸軍飛行場及市街ヲ銃爆撃南東海上ニ退去 戰果撃墜一機海軍側被害ナシ

通六六二二 天Bヶ六( B ) 佐世保 原(森 田)

昭和廿年四月拾壹日

緊急

四一一 受信 一五一七  
譯始 一六〇五

了 一七三一

電 〇〇六二八三  
電 〇〇六二八四  
電 〇〇六二八五

作 概

四月拾貳日



第五基地 航空部隊

第六三四空 (淡水航空基地)

機密第一〇二三二七番電 二分ノ一二三

水爆隊戦闘概報 (九日)

一、天候不良ノ爲攻撃ヲ實施セズ

二、一四一五ヨリ約三〇分間、四〇一延約六〇機來襲低空ニテ海岸

ヲ綿密ニ偵察灣内入江ヲ次々ニ探リ射撃ヲ爲シタルトコロ不幸一

機ニ被彈炎上秘匿ノ所在暴露ノ爲ニ執拗ナル銃爆撃ヲ受ケ瑞雲五

機炎上一機小破 (修理可能)

通六八九三六九八〇七〇〇〇、呂一Bケ七(一一三七四五KC)五FGB放

坂本、高橋、久保田 (小野田)

三、古仁屋基地現狀

久根津浦（現在迄ノ秘匿位置）ノ北西隣浦井女島ニ三機秘匿可

能ナリ 目下可動機全機秘匿中

尙古仁屋對岸加計呂麻島ニ數箇所秘匿場所選定中ナリ

四、昨日ノ空襲狀況ヨリ判斷秘匿場所ノ發見ハ結局時機ノ問題ナル點竝

ニ對空砲火ノ皆無ナル點ヨリ鑑ミ飛行機ノ長期秘匿ハ極メテ困難ナ

リト認ム

爾今三機程度淡水古仁屋間往復攻撃竝列ニ於テハ極力分散秘匿ニ努

ム

三、可動瑞雲二機



(一)



作戰緊急



四十一  
受信開始 一〇三〇〇  
一〇五五  
一〇六〇五七

航作  
本機

昭和廿年四月拾貳日

第一機動基地航空部隊天作戰部隊作戰命令着信艦所

共符

機密第一一〇九二六番電

一五時天信電令作第一〇〇號

七〇空司令ハ成ルベク速ニ喜界島基地ニ進出同基地所在海軍部隊ヲ指揮航空作戰ノ強化續行ニ任ズベシ。

通六八二四 局一四七七(七八七五) 一五時

奥山(猪狩)

四 一一 受信 一一〇一五 譯了 一二四五 電〇六一一三 航作艦本

作戰緊急

共

符



⑤

一機動基地航空部隊天作戰部隊作戰命令着信艦所・一二聯合航空隊

機密第一一〇九三二番電

一KFGB天信電令作第一〇一號

一、菊水二號作戰×日ヲ明十二日ニ決定

ニ八〇一部隊ハ本夜左ニ依リ夜間索敵哨戒ヲ實施スベシ

(1)哨戒區域 都井岬地點「ルテ〇コ」「ミチ〇コ」「レホ〇コ」坊

ノ岬ノ海面

(2)先端到達〇一〇〇

三七二一部隊在鹿屋陸攻一ケ中隊明十二日一二〇〇以後神雷攻撃待機

トナセ

通六八七〇

呂一Bケ七(七八七五KC)一KFGB放

高橋(小林)

四 一 一  
詳文始 一一〇三三  
丁 一一一九  
〇 六〇九三  
本

作 城 緊 急

鹿屋航空基地

松山空基地



機密第一一〇九五二番電

發 三四三空司令

敵機動部隊奄美大島南方ニ在リ敵少隊機ハ九州南部ニ出沒シツツアリ  
飛行機隊ハ本日一四〇〇以後逐次發進警戒ヲ嚴ニシツツ鹿屋基地ニ送  
出セヨ。

通六八八三 於十五(七八七五KG)一KPOB放 清水(飯田)

昭和廿一年四月拾貳日

四 一 一 受信 一一四二五  
了 一二〇八 電 〇六〇八八  
航作 本概 〇

作戰特別緊急  
屋 航 空 基 地



第一機動基地航空部隊天作戰部隊作戰命令着信艦所

機密第一一一〇一一番電

一 K F G B 天信電令作 第一〇二號

一〇九三〇地點「メツニキ」空母三隻ヲ含ム敵部隊ヲ發見在第一國分  
半兵力及七二一部隊戰艦半兵力ハ準備出來次第發進之ヲ攻撃スベシ  
三二〇三部隊約二箇中隊ハ準備出來次第發進奄美大島及敵附近ノ制空

三任ニ  
スシ。

通六八七八 於一五(七八七五) K F G B 清水(福田)

昭和廿年四月拾貳日

四 一 一 受信 一六三四七 譯了 一六三〇 電 〇六二一八 航作 本概 〇

至 急



九三一空 (佐伯航空基地)

九三一空 (串良航空基地)

基隆航空基地・一機動基地航空部隊  
護衛艦隊F・沖根

機密第一二一〇一一番電

發 第九三一航空隊司令

電令作第五八號

一 進撃部隊 (九七式艦攻六天山三) ハ本十一日日没時喜界島ニ進出指揮  
官所定ニ依リ明十二日黎明沖繩島西方海面 (嘉手納沖) ノ敵艦船ヲ奇  
襲之ヲ雷撃撃滅スベシ  
二 爾餘ノ兵力ハ各所在基地ニ於テ十一日一八〇〇以降攻撃 (雷撃) 二時  
間待機トナセ。

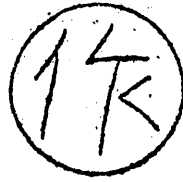
進六九五〇

呂一Bケ七 (七八七五) 一KFGB放咲花 (渡邊)

四 一 一 譯信 一 二 四 八 譯了 一 二 四 五 電 〇 六 一 〇 六 航作 本概 〇

作戰特別緊急

● 總無線區所用共通符號



● 第一機動基地航空部隊天作戰部隊作戰命令着信區所  
第二聯合航空隊

機密第一一〇〇番電

一 K F G 天信電令作第一〇三號

〇 九三〇 地點「メツニキ」ノ敵兵力ハ大型航空母艦二隻特設航空母艦

一隻ヲ基幹トス第一隊分ノ全力ヘ一〇 A F 兵力及ビ七〇一部隊缺レ七

二一部隊爆戰全力之ヲ攻撃スベシ。

通六九〇七 於十五(七八七五K) 一 K F G B 放 星野(土谷)

昭和二十一年五月拾貳日

作

佐領區敵 着信艦所

四一一 受信一四三二五  
譯始一四三二

譯了一四五五 電〇六一三五

航作概本〇

三二一 設營隊

機密第一一一二一五番電

先ノ敵艦上機三〇機一〇二五十一一〇五南方ニ去ル一一〇一一一四〇  
一五機更ニ來襲飛行場前洗ニ侵入退去方向共南本朝來少數機常時 空制  
壓ヲ爲シツツ地<sup>上</sup> 攻撃ヲ行ヒツツアリ

通六九七九 才一五 (七八七五K) 一五PQB放

星野(三石)

昭和廿年四月拾貳日

水



四 一三 受信二一三三 譯始〇五二〇三

了〇七一〇 電〇七六三一

航作概〇 本

昭和廿年四月拾四日

母島警備部隊

機密第一一一二一五番電

宛 父島根據地隊司令官 横嶺參謀長 大海參一部長

本十一日硫黄島方向ニ 〇七四〇頃ヨリ 〇九二〇頃迄五分乃至十分間

隔ニ砲撃ノ如キ轟音聞エタリ最近夜間二乃至四機トシ晝間ハ一三四

トE丁十七各六機本島又ハ間ノ海上ヲ銃撃シ硫黄島方向ニ脱去スルヲ

例トシアリ。

通八五三八 呂山Bヶ七 (B) 横須賀 森(猪狩)



del. C. 4  
C. 6

四二 受信一五四三八  
了 一九五〇  
電〇六二四一  
作 機〇

緊急



天一號作戰部隊

機密第一一一三二七番電

一三〇〇視界内敵情

嘉手納沖重巡洋艦四隻輕巡六驅逐艦一掃海艇二九隻輸送船六二隻上陸  
用舟艇一二那覇沖重巡二輕巡一掃海艇七慶良間ヨリ小湊沖ヲ經テ嘉手納  
ニ向フモノ輕巡一輸送船二七隻戰艦約一〇飛翔中。

通六九七三 天之七六七八七五K(一)KFG E 村山(福田)

昭和二十一年四月廿六日

四二一

受信一四五八  
譯始一五三七

譯了一五四四 電〇六一六一

作概〇

作戰緊急

小崗山司令部



第五基地航空部隊作戰命令着信隠所

機密第一一四一二番電

五FGB電令作第八二號

特攻總攻緊ヲ更ニ一日延期シ十三日ニ改ム。

通六九八四 呂一Bケ七(一一三四七) 五KC(五FGB放美崎(雨)谷)

昭和廿年四月拾貳日

321 夜

島新地

五七〇五七

於十五（九八三〇KG）作二放

清水（土谷）

敵艦上機十四機飛行場滑走路ニ爆彈投下交戦中。



○ 佐領區敵情着信機所

密第一一四三五番電

四 一 一 受信一六四二〇

一六二五

電〇六二〇四

作 概〇

三二 敵艦隊

昭和廿年四月廿五日

四 一 一 受信一六三五 譯了一七一七 電〇六二二一

航作 本概 〇 昭和廿年四月拾貳日

緊急



● 九三一空 (佐伯航空基地)

● 第一機動志地航空部隊 (喜界航空基地)

機密第一一四三七番電

發 九三一空司令

電令作第五九號

一〇九三〇敵機動部隊ノ位置喜界島ノ南八〇里針路西速力二〇節

二進擊部隊第二中隊 (天山三機) ハ今薄暮第一三一部隊雷撃隊ト協同

前項敵機動部隊ヲ雷撃隊滅スベシ

三電令作第五八號第一項ノ兵力ヨリ天山三機ヲ除ク。

通七〇七八 才一五 (七〇七K) 一KFGP放 宮崎 (木 下)

四 一 一 受信 一六二六  
譯始 一六三〇

譯了 一六四二

電 〇六一九九

作 概 〇

昭和二十年四月拾貳日

作戰緊急

鹿屋航空基地



第一機動基地航空部隊  
天一號作戰部隊戰團概報着信場所

機密第一一五八番電

敵航空母艦ハ左ノ二群アリト認メラル

喜

一四〇〇 界島南方七〇乃至八〇 連空母大二小一其ノ他十數隻 (戰爆)

突入推定位置

一四二〇 地點「マテ三ツ」空母二隻其ノ他二〇隻 (彩雲報告) 一五一八

通七〇五四 才一五 (七八七五 KC) 一 K F G B 放 山本 (木 下)

作戰緊急

四 一一 受信一七三三八 譯了一八一〇 電〇六二四 作 概〇

● 鹿屋 航空基地



● 第一機動基地航空部隊天竺作戦部隊間統報着信箇所

機密第一一一一三二三番 電

丁字

一 K F G B 天敵情 (沖繩周邊) 速報 (四月十一日 〇九〇〇)

二 中城湾 艦一乃至二隻 驅逐艦十一隻

三 瀨川沖 巡洋艦又八驅逐艦三乃至五隻 輸送船二〇乃至三〇隻

四 慶良間 東部輸送船一〇隻 驅逐艦二隻

五 池田島 北方驅逐艦八隻

六 久米島 北方巡洋艦一隻 驅逐艦二隻

七 北中飛行場 沖超低高度偵察ノ爲確認セザルモ輸送船莫ノ他多數アリ

ルカ如シ

八 沖繩北端 警戒艦ヲ配シアリ

通七 一三二 於十三 (七八七三 KC) 一 K F G B 放山本 (雨谷)

四 一一 受信二二二九 譯了二三〇五 電〇六三九七 作概〇  
開始二二四五

緊急

●

天一號作戰部隊

●

沖繩島南端見張所



機密第一一一一五三〇番電

艦船狀況報告

一一〇度一五籽戰艦二微速一 一八〇度二進行一六〇度一五籽巡洋  
艦一驅逐艦一針路二七〇度 二六〇度乃至二七〇度 一五籽小型艦艇  
七南下三〇〇度三〇籽戰艦二漂泊三四〇度二〇籽戰艦微速四戰艦六  
驅逐艦二漂泊中三四〇度乃至三六〇度一五籽ヨリ二五籽巡洋艦二驅  
逐艦二輸送船一四漂泊其ノ他大ナル變化ナシ。

通七三〇二 才十四(四九一五KC)佐二放 仙波(阿波)

昭和廿年四月拾貳日

四 一二 受信開始 〇〇二一八〇 譯丁 〇三〇九 電 〇六四五四 航作 本機 〇

宮古航空基地



鹿屋、喜界、石垣各航空基地  
第五基地航空部隊臺灣方面飛行機配備基地

機密第一、一一五五六番電

一 本日來襲狀況 概テ閑散ナリ 〇七四〇 一〇九五 四F 六F 六機 一〇〇〇  
一〇三〇 TBF 四機 F 六F 二機 一三三〇 一三五〇 F 六F 四機 其ノ  
他 PEY B 一 二 四 各一機 來襲

二 主滑路 使用可能

三 天候 微雨 斷續 スルモ 視界 三〇 料稍シツツアリ 飛行 稍適。

通七三八一 オ一五(三八七三五) KC(五F) B放 清水(木) 下

昭和廿年四月拾貳日



四 一 一 受信一七三〇  
 開始一七四〇  
 譯了一七五五  
 電〇六二四〇  
 航作  
 本概〇

作戦特別緊急



● 一機動基地航空部隊天一號作戰部隊戰鬥報告信應所  
 ● 無線電所用共通符號

機密第一一六〇一番電

一 K F G B 天信電令作第一〇七號  
 本十一日陸軍司令部偵察機報ニ依レバ沖繩北及中飛行場小型機夫三  
 〇及五〇計八〇ヲ認ム菊水二編作隊ニ於ケル關東空軍隊夜襲隊ノ攻撃  
 目標ヲ北中飛行場敵飛行機ニ改ム。

通七二〇七 於一五二七二七五(一)一五二四(一)放 宣五(一)止(谷)

人

四一一 受信 一九〇七 譯了 二二〇五 電〇六三三九 作 概 〇

緊急



● 天一號 作戰部隊

● 六郷軍 派遣 通信隊

機密第一一六〇二番電

球情報

一、夜間進攻目標燈トシテ左ノ如ク火災ヲ起サシム

十二日〇二〇〇ヨリ拂曉迄二〇〇〇ヨリ拂曉迄首里西方一汗

尙兵火ニ依ルモノ所々ニ發生スルコトナキヲ保シ難ク注意セラレ度

三十日津堅方面〇八三〇「アリゲイター」一〇數輛及舟艇約八〇隻ヲ

以テ爾南岸ニ上陸敵兵力ニ二〇〇迄ニ二個大隊

通七一一五五 呂一Bケ七(四九一五KG) 佐二放 東野(小野 田)

昭和廿一年四月拾貳日

四 一一 受信二〇五〇 譯了二二二二 電〇六四二一〇 作 〇

緊 急

共

符

先 遣 部 隊



機密第一一八一六番電 二分ノ一、二

目B綜合情報第五八號

一 沖繩陸上激戦中戦線變化ナシ

二 沖繩周邊一三〇〇嘉手納沖巡洋艦一〇D一W二九T六二舟艇一二

上陸續行中那覇沖巡洋艦三掃海艇七慶良間列島ヨリ巡洋艦一輸送船

二七嘉手納ニ向ヒツツアリ南端ノ一〇〇度乃至二七〇度間三〇軒以

内ニ巡洋艦驅逐艦十數隻行動シアリ

三 北中飛行場ニ小型機夫々三〇及五〇機ヲ認ム

通七一九四 呂一Eケ五(五二九五KC)六FF 菅原(福田)

通七二〇六

昭和廿年四月拾貳日

四 陸機動部隊今朝來大島南東六〇海附近ニニ番行動シアリ一四四六地  
 點ヘツユ三九A二味方飛行機攻撃中一六二五地點ヘキユ一六A二特  
 空母一針路北海暮ニ攻撃ノ豫定  
 本日指宿大島石垣島南大東島喜界島各少數ノ艦上機來襲ス大島上空  
 ニハ常時十數機哨戒。

作戰特別緊急

四 一一 受信一九四五 譯了二一一〇 電〇六四一八 航作本〇



第一機動基地航空部隊作戰命令着信艦所

共 符

機密第一一八二七番 二分ノ二

一 K F G B 參謀長

明十二日菊水二號作戰ニ策應ノ陸軍作戰既報ノ外左ノ通

一〇四三〇一〇五〇〇重爆七機飛行場攻撃

三〇五〇〇一〇五三〇球部隊飛行場方面射撃

三 西方海面ヨリ戦闘機三機發進〇五三〇飛行場ヲ破壊ス

四 細目位置標示ノ爲首里ノ東一軒ニ於テ炬火ヲ焚ク點出時刻十二

目〇二〇〇ヨリ夜明迄同日二〇〇ヨリ夜明迄

通 七 一六七八

品 一 〇 七 七 八 七 五 KC 一 K F G B

大内・清水(阿部)

沖 津 子  
作戦緊急

局長	一課長	天	熟作戦部隊	E	J	G	D	根
局	長	一	課	長	天	熟	作	戦
局	長	一	課	長	天	熟	作	戦
局	長	一	課	長	天	熟	作	戦
局	長	一	課	長	天	熟	作	戦
局	長	一	課	長	天	熟	作	戦
局	長	一	課	長	天	熟	作	戦
局	長	一	課	長	天	熟	作	戦
局	長	一	課	長	天	熟	作	戦
局	長	一	課	長	天	熟	作	戦

機密第一一九二〇番電

一九〇〇視界内敵情

嘉手納沖戦艦三重巡二輕巡二驅逐艦四輸送船七〇小舟艇四〇那覇沖  
 戦艦二重巡二輕巡一驅逐艦四掃海艇五直衛機ナシ本日日没ニ至ルモ  
 戦艦群避退セザルハ特異ナル現象ナリ。

通七三五一 天Bケ六 ( G F P 片山 ( 福 田 )

一九〇〇年四月拾貳日

昭和廿年四月拾貳日

一一一 受信 二二二〇一 譯了 三三三〇 電〇六三八六 作 〇〇〇

作戰緊急

● 沖根 P



● 天一號作戦部隊

機密第一 一一一九二〇 香電

一九〇〇 視界内敵情嘉手納沖隊艦三、重巡二、輕巡二、驅逐艦四、輸

送船七〇、小舟三四〇、那覇沖隊艦二、重巡二、輕巡一、驅逐艦四

掃海艇三、宣術機ナシ、本日日没ニ至ルモ、視界遠ク遡退セザルハ、特異現象

ナリ。

通七二一〇、天口(三七三〇)IC、沖根、田中(雨)、谷

振天球

四 一 一 緊急

受信 二二四〇〇

譯了 二三一五 電 〇六三八一

航作 本概 〇

昭和廿年四月拾日



五基地航空部隊作戦命令着信艦所

五基地航空部隊戸

機密第一一二〇一〇番電

第五基地航空部隊電令作第八四號

臺灣部隊指揮官ハ攻撃第二五三飛行隊九九式艦爆及九七式艦攻全機  
（夜間行動可能ナルモノヲ除ク）ヲ以テ神風特別攻撃隊ヲ編成スベ  
シ本攻撃隊ヲ振除ト命名ス。

通七二三八 田一Bケ七 B (OFF) 品田 (矢野)



昭和廿年四月拾貳日

四一二 受信〇〇八三七 譯始〇九二〇七 譯了一〇五〇 電自〇〇六六四四〇 作 概  
至 急 六航軍派遣通信隊



● 天一號作戰部隊  
● 大海參一部

機密第一一二二二七番電 四分ノ一、二、三、四

球情報

一〇一日一〇〇迄ノ敵北飛行場使用狀況

○九四五小型機一二着陸一〇一〇双發中型一着陸ス同飛行場制壓

本一五五七ノ豫定

尙精軍ハ陸正面ノ敵主力殲滅戰ニ呼應制壓射撃ヲ強化以テ充分使

用妨害ヲ企圖シテ

臺灣國神支隊戰況(十六日一二〇〇)

七日名護灣ニ上陸セル敵歩兵約五〇〇〇戰車約一五〇砲六門ニシ

通 七七三九二 七七四二一 呂一Bケ七 (四九一五 KOKO) 佐二放 (小澤綾)  
七七四二〇 七七四六一 呂一Bケ七 (九八三〇 KOKO) 佐二放 (小澤綾)  
加藤・宮崎 (一)  
吉川・中田

延遲多字誤本註

東通註 本電誤字多キ爲遲延

テB三〇三D二ノ支援下ニ逐次本部半島ニ進入シ來リ九日二〇〇〇  
 安和伊豆味乙羽與那國上江線ニ進出スルト共ニ一部ハ伊豆味渡久地  
 ナ經テ二〇七高地ニ達シ支隊ハ引續果敢ナル邀撃戰ニヨリ敵ノ主陣  
 地ヘノ近接ヲ妨害シ之ガ多大ナル出血ヲ供出セシム我ガ方ノ損害ハ  
 極メテ輕微ナリ伊江島ハ艦砲射撃ノアル他敵ノ上陸ヲ見ヌ現在迄ニ  
 判明セル戰果 破壊炎上戰車三五裝甲車二トラツク一二五發電所一  
 彈藥燃料糧秣集積所七箇所爆破人員射殺數十名  
 四月十日ヨリ十一日〇九〇〇迄敵機來襲狀況  
 (イ)十日〇六二〇ヨリ一三〇〇ノ間延九〇機ニシテ主トシテ首里絲滿  
 南方銃爆撃スルト共ニ中城灣與那原ニ對シ哨戒偵察ヲ行ヒ從來ニ  
 比シ來襲極メテ緩ナルハ雨天ノ關係ナリ一三〇〇以降天候不良ノ  
 爲飛來機ナシ  
 (ロ)十一日朝來依然トシテ今迄活潑ナラズ〇九〇〇約二〇機。

(二)

曲  
一三  
三〇三三〇〇  
了〇一〇〇  
電〇六〇一  
本〇

作戰特別緊急

○ 總無線機所用共通符號

第一機動基地航空部隊天號作戰部隊戰術報告信託所



機密第一一二一三九番電

一 K F G B 天信電令作第一〇九號

一 明廿二日七二一部隊神言攻隊缺在國分全力(一〇A F 除ク)

兵力

○ 六〇〇 以後對機動部隊攻隊待機

二 一三一部隊一〇A F 特攻隊及神言攻隊ハ主トシテ沖繩周邊敵空母

戰艦ヲ六〇一部隊一〇A F 特攻隊ハ主トシテ沖繩周邊敵空母 巡洋

艦 驅逐艦 輸送船ヲ攻撃スベシ。

通七二九〇 呂一Bケ七(七八七五K) 一E F G B 放

藤野(小野田)

昭和廿五年四月廿六日

四 一二受信〇〇三五〇七 譯了〇八四〇 電〇七一四二

航作機〇

昭和廿年四月拾陸日

緊急

聯合艦隊口

天一號作戰部隊

密第一一二一四三番電 二分ノ一

六航軍戰圖概報(十一日)

一、天候回復ニ伴ヒ諸隊ハ勇躍明日ノ總攻擊準備ニ邁進遺憾ナキヲ期シ  
ツツアリ

二、知覽万世地區ニ於テ準備ノ上時攻六五機動地自達原地區約三〇機一  
隊一部ハ十一日早知覽万世ニ邁進一第八飛行師團ヨリ九州地區ニ於  
テ。

電信課註、

(本電二分ノ二既配布)  
(東通註、再送ニ付遅延)

通七四〇七 呂一三々七(四九一五) 佐二成 島田(飯田)

昭和廿年四月拾參日

四 一二 受信 〇〇五五〇七 譯了 〇七二五 電 〇六七六〇 航作 本〇

緊急

六航軍派遣通信隊

聯合艦隊口

天一號作戰部隊



機密第一一二一四三番電

二分ノ二

轉屬ヲ受ケタル特別攻撃隊一二機(新田原)計約一〇〇機、案可能ト認

三 重爆七ヲ以テ球部隊ノ飛行場砲撃ニ先ダテ十二日〇四二〇〇四四〇

〇四五〇ノ三回北中飛行場ヲ攻撃之ヲ制壓

四 十二日ノ作戰要領既報ノ通但制空戰圖機數約二〇機。

一 電信課註 本電二分ノ一未着

通七四一八 呂一八ヶ七(四五七二、五五〇)高二放 長谷川(田中)

四  
一一  
一二  
受信  
開始  
〇〇三三  
〇〇三三  
譯了  
〇〇四四  
〇〇六四  
〇一  
航作  
本概  
〇

作戰緊急

● 鹿屋航空基地

● 機動基地航空部隊

機密第一一二一五八番電

發 機動基地航空部隊參謀

明十二日一〇〇鹿屋發來電改型約五〇機大島南方海面ヲ哨戒ス味  
方諒別ニ開シ注意セシメラレ度。

通七二九一 呂二月廿七(七八七五KG) 一KFB放 池原(梅木)

作戰緊急

四一二  
受信開始  
〇三三七  
〇四一六  
譯了  
〇四五五  
電  
〇六四九五  
航作  
概  
本〇

昭和廿年四月拾貳日



◎

第一機動基地航空部隊天號作戰部隊戰鬥機報告信監所

機密第一一二二二七番電

發 一K F G B 參謀

一K F G B 機密第一一八二七番電中

「首里東方一新」トアルヲ「西方一新」ニ訂正サレ度。

通七三九九 呂一Bケ七(七八七五KC) 一K F G B 放

末光(小野田)

昭和廿年四月拾參日

四 一二 受信機一五五八 譯了二七二七 電〇六八一三 作概

要 是

一機動基地航空部隊

專務航空基地



機密第一一二二五〇番電 二分ノ二

四。日没ヨリ二〇三〇頃迄敵夜戦二機來襲九七艦攻着陸直後銃撃開始被

撃ナシ

五。二〇〇〇頃味方機一機(天山ト敵ノラル)飛行場上空ニ於テ敵夜戦

ト空戦自爆

六。二一三五夜戦一機南飛行場投弾起車機一機炎上。

一電信課註 本電二分ノ一未着

通七六八四 呂一〇七七(七八七五RG)一KFG&放望月(石崎)



國一二 受信〇〇二〇五 譯了〇二二〇 電〇六四三一 航作 本機〇

緊急 小崗山司令部

◎ 新竹航空基地



機密第一一二三四〇番電

發 參謀長

左ノ件念ノ爲

一、今次特攻總攻襲ニ八九九式艦爆及九七式艦攻特別攻撃隊ハ參加セズ  
二、零戰隊誘導ノ艦爆特別攻撃隊二機及天山隊搭乗員ハ伎倆優秀ナルモ  
ノヲ充當ノコト又右艦爆ハ爆彈携行宜欄進出ノコト(宜欄ニハ五〇  
番爆彈ナシ)。

通七三三〇 昌一Bケ七(三七八三) KC(五) FGB 甲田(福田)

作戰緊急

四 一二 受信〇〇二二五 講了〇五二六 電〇六四八七 航作本〇

作

第五基地航空部隊戰術概報着信繼所

機密第一一二三四二番電 二分ノ一、二

第五基地航空部隊電令作第八五號同電令作第七八號

特別攻撃隊總攻撃要領ハ左ノ通ニ依ル攻撃時刻

(イ)陸機艦機隊一零戰誘導機ヲ除ク一一日夕刻

(ロ)零戰隊台中隊ノ突入時刻ヲ一三日〇九三〇トシ石垣隊ハ右ニ

策應スル如ク發進攻撃ス

(ハ)臺中零戰隊半兵力及艦機隊中二機一零戰誘導他ニ兼テ宜蘭

台中零戰隊半兵力及誘導天山隊臺北トシ令ナクシテ十二日夕

刻迄ニ各基地ニ進出

通七三四一・七三四四 呂一〇七(三七八二五) 五(五〇) 甲田(山田)

昭和四年四月拾貳日

三戰果偵察十二日

(陸上部隊ノ目視ニ依賴)

十三日彩雲二機〇九〇〇迄ニ戰場ニ到達戰果偵察實施。

(I)

昭和廿年四月拾貳日

四 一二 受信〇〇二五〇 了〇三〇八 電〇六四五〇 航作 概〇  
 開始〇〇二二一

作戰緊急

小 崗 山 司 令 部



第五基地航空部隊台灣方面飛行機配備基地

機密第一一二三三五二番電

第五基地航空部隊電令第二一號

一二〇五空鈴木少佐ハ明十二日夕刻宜 蘭ニ進出明後總攻撃終了  
 迄所在兵力ヲ指揮スベシ

三臺灣部隊指揮官ハ右ニ準ジ臺北指揮官ヲ派出スベシ。

通七三三九 呂一八ケ七(三七八三五) (五〇〇) B放 筒井(藤田)

昭和廿一年四月拾一日

四 一 二 受信 〇〇二〇四七六 譯了 〇二二六 電 〇六四三二 航作 本機 〇

作戰緊急

三二一 設營隊



佐鎮區敵情着信機所

機密第一二〇〇一五番電

電探ニ依ル敵艦艇位置方位八〇度三〇分五〇秒ニシテ約一〇機ノ上空直衝機ヲ配シアル模様ナリ本島ハ晝間來襲ニ引續キ救揚ナル艦上機(牽制砲撃)一機艦艇飛行場爆撃制壓中。

通七三四六 於一五(四九一五 KC)佐二放 縣根(福田)

察 急

四一二  
受信 〇〇三四三  
始 〇四一〇  
譯了 〇六〇〇

電 〇六四九七  
〇六四九八

作 概

昭和廿年四月拾貳日

小 崗 山 司 令 部



第三基地航空部隊戰團概報着信溢所

機密第一二〇〇二八番電 二分ノ二

第三基地航空部隊戰團概報第二八號

(五日夕刻ヨリ十一日夕刻迄ノ綜合)

一 出動延數攻撃四回 偵察七

二 戰果 敵送船一(二五番一命中) 上陸用舟艇一(膠沈略確實) 敵陣地

二箇所爆碎

右ノ他戰果確認セザルモノ周邊敵艦船(銀河特別攻撃隊三 陸攻掃隊

三) 附近敵機動部隊(彗星三)

通七三八三三九一 呂二日夕刻(三七八三五〇) 五〇四三改 相澤(小野田)

サキ花

三、被害 自爆未歸還一六 大破九

四、本期間出動機數並ニ戰果ノ割合ニ被害率ノ大ナリシハ主トシテ天候ノ障害ニ依ル

三十二日實動機數 零戰三九 尊星八 天山五 銀河五 九六式陸攻

六 瑞雲八 月光六 九九式陸爆四 計八一機

六、當隊戰圖概報第二七號（一日乃至五日）中左記ノ追加除訂正ス

戰果 擊沈輸送船一隻ヲ追加シ

被害 未歸還一機ヲ減ズ

二 受信開始 〇四四三五  
了 〇四四七 電 〇六四八  
航本 〇

作戦特別緊急  
喜界航空基地



鹿屋、串良各航空基地

機密第一二〇三二五番電

〇二三〇迄繼續セル爆撃ノ爲滑走路被弾修埋間ニ合ハズ 九三一空

艦攻ノ攻撃ヲ取止メ串良 轟投セシム。

通七四一四 於一五(三九三七、六〇)一KFGB放 宮崎(杉本)

昭和廿年四月拾貳日



昭和廿年四月拾貳日

四 一二 受信〇五五八 譯了〇六一六 電〇六五二〇 作概〇

作戰緊急

鹿屋航空基地

作

一機動基地航空部隊天候作以編報着信艦所

機密 第一二〇四五三番電

一K F G B天信電令作第一二〇號

昨十一日、空母群北上ノ算アリ〇五〇〇以後第一警戒配備トナセ。

〇四五二

通七四三〇

才一五(七八七五) K F G B放

山本(細川)

四一二 受信 〇〇七二五〇 譯了 〇七二九 電 〇六五〇九 作 概



攻撃終了

輸送船中型一隻轟沈 一隻炎上地點リハ三ス。 〇五三〇

夕ナ一

通七四四七 夕七七(三七八三五)放

山本(高橋)

昭和廿年四月拾貳日

17

四、一二二 受信〇〇七四三 譯始〇八〇三 譯了〇八〇八、電〇六五三一 航作概本〇

緊急 喜界航空基地

● 鹿屋、申良、國分、小祿各航空基地

傍

機密第一二〇六一五番電

〇三五〇以後爆撃三回本日各飛行機ノ出發見合ハス。

通七四四九 於一五(七八七五RC)一KFGD放 森津(松山端)

昭和十年四月...

考

四 一二

受信一二〇四  
譯始一二二七

譯了一二四八

電〇六六八七

作 艦

緊 急

傍

● 天一號作戰部隊

● 沖繩島見張所

機密第一二〇九〇〇番電

艦船狀況

一 沖繩島南部現在東西線海面共大型艦 見エズ 東海面輸送船三 艦

逐艦上陸用舟艇數隻有リ中城灣内大小艦船多數其ノ灣外四〇乃至五

〇軒附近ニ戰艦巡洋艦驅逐艦數十隻ヲ以テ警戒航行中

二 南部上空敵機一〇數機ヲ以テ銃爆撃ヲ行ヒツツ有リ本日午前海岸線

低空警戒シツツ有リ 〇九〇〇。

通七六〇七 於十四 (七八七五K) - K F G B 放 仙波 (森 田)

昭和廿年四月拾貳日

沖繩

作戰緊急



四 一三 受信一九〇二  
譯始一九四六  
了二〇二二 電〇七四八九 作概

五基地航空部隊

六三四空(淡水航空基地)

機密第一二〇九三〇番電

軍機速報 (十二日)

一 瑞雲一機〇四三五古仁屋基地發進船團攻擊淡水ニ歸投〇五三〇伊江  
島北方ニ墜ニ於テ中型輸送船一隻直撃炎上  
二 運天港附近一ミスト一ノ爲狀況確認出來ザリシモ運天港伊江島北方  
及南方ニ艦砲射撃ノ尖光及船團手認ム久米島周邊艦艇ヲ認メズ其ノ  
他偵察セズ

三 沖繩臺灣間天候概ネ快晴

四 可動瑞雲一機。

通八四三八 呂一Bケ七(一〇一七〇RC)小崗山航空基地  
吉川(猪狩)

昭和廿年四月拾四日

四一二

受信一七四六  
譯始一八四五  
譯了 一九二〇

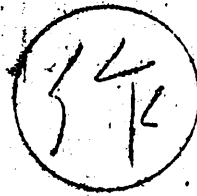
電自〇〇六九三二  
電至〇〇六九三六

作 概

昭和十年四月拾參日

至 急

總無線艦所用共通符號



一機動基地航空部隊天作戰部隊作戰命令着信艦所

機密第一二〇九三一番電 五分ノ一二三四五

一KFGB天戰團速報 (四月十一日)

二十一日早朝ヨリ東海及列島線南東方海面ヲ索敵〇九三〇喜界島南方

七〇漕附近ニ正視空母ニ巡改空母一ヲ含ム航空母艦群ヲ觸接特續ニ

努ムルト共ニ攻撃隊ヲ指向一一〇〇ヨリ制空戰團機約六〇機ヲ先行

一二三〇ヨリ一四五〇迄ニ晝間攻撃隊約四〇機發進一三五〇ヨリ一七

〇〇ノ間頃迄ニ櫛木突入ヲ報ゼリ

通七五七五・七六八九・七七〇八 呂一〇ケ七(七八七五) 一KFGB放

新倉・長井・石垣  
西村・石垣  
(ハンシツ)

北支隊 母空隊の附近 政理の南方 知得の附近 偵察の位置 全貌の推定

三午後ノ空襲ニ於テ喜界島ノ一〇〇度約五〇度ニ於テ更ニ空母二隻ヲ

含む他ノ一群ヲ發見觸接機ハ一四五五頃友軍ノ突入ヲ認メ對空砲火

熾烈ニテ黒煙二條昇騰スルヲ認ムルモ敵戰團機ノ妨害ヲ受ケ戰果ヲ

確認スルニ至ラズ

三一五三〇ヨリ一八〇〇迄更ニ重燃銀河天山計三八機薄暮攻撃ノ爲發進

一八五〇頃ヨリ一九二〇頃迄ノ間ニ雷燃撃ヲ決行ス

四現在迄ニ判明セル戰果並ニ被害

(1) 制空隊ハ喜界島上空ニテ六〇一八機ト交戦二機撃墜確實一機

未歸還

(2) 特攻隊空母ニ突入ヲ報セルモノ戰爆ハ五〇番(裝備)及彗星四機(艦)

船ニ突入ヲ報セルモノ戰爆三機 薄暮攻撃隊巡洋艦二隻轟沈(一隻)

戰艦又ハ大型巡洋艦一隻大火災巡洋艦一隻大型驅逐艦二隻ニ魚雷

命中ヲ確認其ハ他調査中

三奄美大島南東沖繩海面視界不良ナリシニ低高度觸接ナリシ爲KDB

ノ全視ヲ偵知得ザリシニ攻撃隊ノ空母攻撃推定位置喜界島南方七〇

湊附近及沖繩北端東方八〇附近

六一六三五喜界島南方三〇湊ニ更ニ空母三ヲ含ム健在ナル空母群ヲ

發見セル點ヨリ判斷敵KDBハ三群アリシヨト略確實ニシテ内二群

ニ對シ攻撃セルモノト推定ス

昭和廿年四月拾參日

(三)



緊急

停

天一號作戰部

機密第一二二〇四七番電

二分一二

四 一二

受信一五二四  
譯始一六一〇

譯了七二五

〇〇六七九〇

作

六航隊派遣通信隊

昭和廿年四月拾參日

六航軍 戰 機速報

一、早爆八ヲ以テ十二日〇三四五ヨリ沖繩飛行場攻撃成果北飛行場

滑走路交叉點附近大爆發一（直徑一〇〇〇米高サ三〇〇〇米ニ達ス）

其ノ他小火災上三中飛行場柱距離少天部ヲ火ニテ捕捉炎上三十四機

爆碎一機飛行場位置ニ爆發三・火災二確證

二防集砲火北飛行場探照燈約二〇對空射擊熾烈中飛行場東西ニ高角砲

各三門探照燈若干飛行場機邊機砲約四〇

三、一番機ハ全ク敵ヲ奇襲機火都ノ如シ他ノ部隊モ燈火確證ス

四、奄美及其ノ北備地沖繩本島上空索敵實施シアリ。

七五五四  
七六五一  
呂一八ヶ七  
七八七五  
九八三〇  
一KFOB放  
佐二放  
石垣（岩崎）  
田中

作戰特別緊急

四一二 受信一三〇七八

譯了一三四五 電〇六六八三 概〇

昭和廿年四月拾貳日

無線艦所用共通符號

機動基地航空部隊天作戰部隊概報着信處所



機密第一二一一二七番電

一KFGB天信令作第一一二號

○九四〇與論島ノ一〇〇度六〇徑附近ニ空母ヲ含ム敵部隊ヲ發見七二一  
部隊爆戰約半兵力ハ準備出來次集發進敵空母ヲ攻撃セヨ在國分制空戰團  
機密全力ハ右攻撃隊ニ先行直路進撃敵附近ヲ制空ニ任ズベシ。

通七五五六 呂一Bケ七(七八七五間)一KFGB放 半海(様 海)